

# ウールマーク品質基準

## 品質基準 IB-3: 2016

### パイル寝具

#### 製品

ウールマークラベルは、織物、編物、またはタフティングされたパイル生地から作られた以下の製品に適用される。

- 羊毛わたを含む製品以外のマットレスカバーおよび敷き毛布（下敷き製品）。羊毛わたを含む製品（ベッドパッドなど）については、品質基準 IB-2 を参照。
- ベッドスプレッド
- 毛布（片面または両面）（上掛け製品）
- 寝袋
- クッションカバー
- まくらカバー
- 編みタオルケット（日本で一般的に使用されるテリータオルループの毛布）

パイルは、カットおよび/またはループ構造である。

**ウールマークブレンド・ラベル：**ウールマークブレンド・ラベルは、ケースバイケースで、羊毛/木綿または羊毛/絹パイルを含むパイル寝具に適用される。すべての製品は、必ず Woolmark Management Group に提出して審査を受けなければならない。

ウールマークブレンド・ロゴは、他のパイル寝具で使用してはならない。

## 基本品質基準

「ドライクリーニングのみ」製品を含め、取扱表示にかかわらず、すべての製品

特性	試験方法	合格基準				
		タオルケット	毛布		ベッドスプレッド、クッションカバー、まくらカバー	マットレスカバー
		両面	片面	両面		
パイルの羊毛混用率（以上）	155	<b>ウールマークー新毛 100%</b> （詳細については、必要に応じて品質基準 F-1、F-2、F-3、または F-4 を参照）  <b>ウールマークブレンドー新毛 50%</b> 木綿、絹、その他の天然繊維 50% （品質基準 F-5 を参照）				
製品寸法		実際の製品寸法を測定し、ラベルに表記された寸法と同じ（またはそれ以上）でなければならない。				
表面パイル質量 (gm <sup>2</sup> ：以上)	277	合計：200 各面：100	200	合計：300 片面：200 片面：100	250	500
スライバーニット製品のみ （製品が 300gm <sup>2</sup> 以上、500gm <sup>2</sup> 未満である場合は、パイル密度関数を参照）		250	合計：500 各面：250	250	500	
パイル密度関数（最低） （製品が 300gm <sup>2</sup> 以上、500gm <sup>2</sup> 未満である場合）	285	-				80
パイル高さ（mm：以上）	279	-	7	8	7	15
パイル厚さ（mm：以上）	280	-	-	-	-	3
総面積に占めるパイルの割合（%：以上）	289	100	70	70（各面）	70	100
摩擦堅牢度：湿・乾（級：以上） （淡色を除く）	165	3-4				
油脂分（%：以下）	136	1.0				
耐光堅牢度（級：以上） 毛布およびベッドスプレッドのみ	5	濃色：4 淡色：3				-

- この表は、必ず下記の注と併せて読むこと。

### 注

#### 1. 毛布

両面製品：各面は、4mm 以上でなければならない。

#### 2. マットレスカバー：

製品は、新しい（これまで最終製品に含まれていなかった）繊維の組み合わせからなるわたを含

む多層構造、またはブロックフォームとする。

**3. ウールマーク TM155 : 羊毛混用率**

ウールマークブレンド・ラベルは、羊毛/木綿または羊毛/絹パイルを含むパイル寝具に適用される。すべての製品は、必ず **Woolmark Management Group** に提出して審査を受けなければならない。ウールマークブレンド・ラベルは、他のパイル寝具で使用してはならない。

**4. ウールマーク TM277 : 表面パイル質量**

表面パイル質量が  $300\text{gm}^{-2}$  以上、 $500\text{gm}^{-2}$  未満であるマットレスカバー製品では、パイル密度関数に基づく以下の条件を代替合格条件として適用することができる：パイル密度関数  $\geq 80$ 。

**5. ウールマーク TM285 : パイル密度関数**

パイル密度関数 =  $(p^2/100h)$  である。p は単位面積当たりの重量、h はパイル高さを表す。

**6. ウールマーク TM279 : 寝具のパイル高さ**

新しい試験方法に注意する。

**7. ウールマーク TM280 : 寝具のパイル厚さ**

新しい試験方法に注意する。

**8. ウールマーク TM289 : 総面積に占めるパイルの割合**

パイルおよびパイル以外の部分からなる生地では、パイルが生地表面全体の **70%** 以上を占めていなければならない。マットレスカバーの場合、パイルが **100%** を占めることが要求される。ただし、まくらには、パイル以外の部分の使用が認められる。表面パイル質量は、パイル部分のみで計算しなければならない。すべての試料は、必ず **Woolmark Management Group** に提出して承認を受けなければならない。

**9. ウールマーク TM165 : 摩擦堅牢度**

標準濃度の 1/12 より濃い色の製品に適用される。

**10. ウールマーク TM136 : DCM 抽出分**

コメントなし。

**11. ウールマーク TM05 : 耐光堅牢度**

毛布およびベッドスプレッドにのみ適用される。

## 追加品質基準（ドライクリーニング製品用）

特性	試験方法	合格基準
合計寸法変化率：最大 （%：以上） サイクル数および種類：3×ISO3175 ノーマル または CDT	—	製品は、表記法未滿に縮んではならない、または 幅 -5 長さ-5 （ラベルに表記された寸法以外を使用して製品寸法を測定する 場合）
3回のドライクリーニングサイクル後の外観—パ イル スライバーニット製品のみ	287	許容できること （洗濯後の繊維の凝集、フェルト化、結合のレベルが基準を 満たしている）
3回のドライクリーニングサイクル後の外観—パ イル 非スライバーニット製品		許容できること （洗濯後の繊維の凝集、フェルト化、結合のレベルが基準を 満たしている）

- この表は、必ず下記の注と併せて読むこと。

### 注

#### 1. 製品寸法

実際の製品寸法を測定し、ラベルに表記された寸法と同じ（またはそれ以上）でなければならない。

-5 < DC は、製品が 5%以上縮んではならないことを示す。

#### 2. ウールマーク TM287：スライバーニットの外観保持性

ISO 3175 ノーマルまたは同等の商業ドライクリーニング試験（CDT）に従ってドライクリーニングを 3 サイクル実施する。

（洗淨中に加え）使用中にフェルト化が起こる可能性がある。注意表記に関係なく、すべての製品が使用時に許容程度の外観保持性を示すことが重要である。

特にパイル高さの高い製品では、使用後に満足できる外観を保持するには、防縮処理した羊毛を使用する必要がある。

#### 3. 試験試料

ウールマーク TM31、CDT、CWT の試料サイズとしてはシングル大人サイズ製品（または相当品）を推奨するが、1.0 x 1.0m の試料を使用することもできる。

#### 4. ドライクリーニング後の外観

ドライクリーニングは、2%の水を充填した溶媒システムを使用して、ISO 3175 標準（または相当規格）に従って実施しなければならない。製品の合格を判定する際には、指定された洗濯サイクル前後の表面外観が考慮される。

「合格」とは、洗濯後の繊維の凝集、フェルト化、結合のレベルが基準を満たしていることを意味する。

## 追加品質基準（手洗い製品用）

特性	試験方法	合格基準
緩和寸法変化率（%：以上） （1×7A サイクル後）	31	製品は、表記の製品寸法未満または以下の寸法未満に縮んではならない。 巾 -4 丈 -4 （ラベルに表記された寸法以外を使用して製品寸法を測定する場合）
フェルト寸法変化率（%：以上） （1×7A サイクル後）	31	巾 -5 丈 -5
パイル外観 （1x7A + 1x7A）洗濯サイクル後	287	著しい外観変化がないこと
手洗い堅牢度 変退色（級：以上） 羊毛汚染（級：以上）	250	3-4 4
湿潤アルカリ堅牢度 変退色（級：以上） 羊毛汚染（級：以上） 単色を除く	174	3-4 4

- この表は、必ず下記の注と併せて読むこと。

### 注

#### 1. 取扱表示

手洗い（平干し）または手洗い（吊り干し）

#### 2. ウールマーク TM31：寸法安定性

-4 < DC は、製品が 4%以上縮んではならないことを示す。

-5 < DC は、製品が 5%以上縮んではならないことを示す。

#### 3. ウールマーク TM287：スライバーニットの外観保持性

合格とは、洗濯後の繊維の凝集、フェルト化、結合のレベルが基準を満たしていることを意味する。

製品の合格を判定する際には、洗濯サイクル前後の表面外観が考慮される。マシンウォッシュブル製品が洗濯後も満足できる外観を保持するためには、防縮処理した羊毛を使用する必要がある。また、パイル保持率を維持するためには、スライバーニット製品にラテックスを裏面塗布することを推奨する。

#### 4. ウールマーク TM250：手洗い堅牢度

この試験は、染色された製品のみに適用される。

#### 5. ウールマーク TM174：湿潤アルカリ堅牢度

この試験は、単色を除く製品に適用される。

## 追加品質基準（マシン・ウォッシュャブル製品用）

特性	試験方法	合格基準
緩和寸法変化率（%：以上） （1 x 7A サイクル後）	31	製品は、表記の製品寸法未満または以下の寸法（以下の注を参照）未満に縮んではならない。 幅： -4 長さ：-4 （ラベルに表記された寸法以外を使用して製品寸法を測定する場合）
フェルト寸法変化率（%：以上） 1 x 5A サイクル後の家庭用品 5 x 5A サイクル後の医療・看護用品	31	幅： -5 長さ：-5
洗濯サイクル後のパイル外観 1 x 7A + 乾燥 + 1 x 5A + 乾燥 または 1 x 7A + 乾燥 + 5 x 5A + 乾燥	287	著しい外観変化がないこと
洗濯機洗い堅牢度 変退色（級：以上） 羊毛汚染（級：以上）	193	3-4 4
湿潤アルカリ堅牢度 変退色（級：以上） 羊毛汚染（級：以上） 単色を除く	174	3-4 4

- この表は、必ず下記の注と併せて読むこと。

### 注

- 取扱表示：**  
洗濯機洗い（平干し）または洗濯機洗い（吊り干し）  
マシンウォッシュャブルの取扱表示の一部としての「タンブル乾燥」  
ラベルに「タンブル乾燥」と表示する場合は、その製品を Woolmark Management Group に提出しなければならない。Woolmark Management Group が指定試験所に製品を提出し、そこで該当する基準に適合しているかどうかの試験および評価が行われる。製品の合格を判定する際には、洗濯・乾燥サイクル前後の表面外観が考慮される。
- ウールマーク TM31：寸法安定性**  
-5 < DCは、製品が5%以上縮んではならないことを示す。
- ウールマーク TM287：スライバーニットの外観保持性**  
合格とは、洗濯後の繊維の凝集、フェルト化、結合のレベルが基準を満たしていることを意味する。  
製品の合格を判定する際には、洗濯サイクル前後の表面外観が考慮される。マシンウォッシュャブル製品が洗濯後も満足できる外観を保持するためには、防縮処理した羊毛を使用する必要がある。また、パイル保持率を維持するためには、スライバーニット製品にラテックスを裏面塗布することを推奨する。
- ウールマーク TM193：洗濯機洗い堅牢度**  
この試験は、染色された製品のみに適用される。  
試験は、過ホウ酸塩を含まない標準洗剤を使用して、パート A に従って実施される。  
追加のラベル要件を守り、漂白剤を含む洗剤を使用してベッド製品の洗濯機洗いした場合に発生しうる問題を防止しなければならない。この場合、製品に添付するすべての札およびラベルに、以下の表記を行わなければならない。「ウールマーク承認洗剤を使用して洗濯すること」（またはこれに類似する内容）。これらの追加要件の詳細については、Woolmark Management Group

から入手することができる。

- **ウールマーク TM174 : 湿潤アルカリ堅牢度**  
この試験は、単色を除く製品に適用される。

## 付録：追加取扱表示の指定

### 追加取扱表示：Pure Merino wool

製品

**Pure Merino Wool** は、この品質基準に記載された条件を満たすすべてのウールマークラベルの付いた製品に適用される。

**Pure Merino Wool** は、ウールマークブレンドまたはウールブレンドラベルの付いた製品では使用しない。

### Pure Merino Wool の追加条件

特性	試験方法	要件
羊毛混用率	155	品質基準 F-1、F-2、F-3、F-4 で記載された新毛 100%
平均羊毛繊維直径 ( $\mu\text{m}$ ：以下)	22、23、24	22.5 $\mu\text{m}$

### 注

1. 平均繊維直径は、完成品から採取した糸（または該当する場合は繊維）から判定される。

繊維直径要件（試料採取および試験許容範囲を含む）は、最終製品段階で適用される。平均繊維直径は、繊維加工時における微細繊維の選択的喪失の結果として大きくなることがある。特定の環境でどの程度の変化が起こるかは分かっていないが、最終製品要件を満たすには、原料段階で 21.5～22.0 $\mu\text{m}$  に近い直径の羊毛を選ぶことを推奨する。

異議が生じた場合は、ウールマーク TM24 の結果を承認しなければならない。

## 追加取扱表示：オーストラリアンメリノ

### 製品

オーストラリアンメリノは、本品質基準に記載された条件を満たすすべてのウールマークラベルの付いた製品に適用される。

家具、寝具、カーペット、ラグ用のオーストラリアンメリノ・プログラムに含まれるすべての製品要求事項は、Woolmark Management Group に提出して審査を受けなければならない。

### オーストラリアンメリノの追加条件

特性	試験方法	要件
羊毛混用率	155	新毛 100%
平均羊毛繊維直径 ( $\mu\text{m}$ : 以下)	22 または 23 または 24	22.5 $\mu\text{m}$
オーストラリアンウールの繊維混 用率 (% : 以上)	確認のため、ライセン シーからウール輸入業者ま たは販売業者による証明 書を提出のこと。	50%

### 注

1. 羊毛は Pure Merino 羊から刈り取ることとし、確認書面を提出しなければならない。

## 追加取扱表示：ゴールドラベル

### 製品

ゴールドラベルは、この品質基準の対象に含まれるパイル寝具に適用される場合がある。

毛布、ベッドスプレッド、ひざ掛け、上掛け用のゴールドラベル・プログラムに含まれるすべての製品要求事項は、Woolmark Management Group に提出して審査を受けなければならない。

### ゴールドラベルの追加条件

特性	試験方法	要件
羊毛混用率	155	製品は、すべてのウールマーク品質基準（ウールマーク品質基準 F-1～F-4 を参照）を満たさなければならない。
平均羊毛繊維直径 ( $\mu\text{m}$ ：以下)	22、23、24	22.5 $\mu\text{m}$
オーストラリアンウールの 繊維混用率（%：以上）	確認のため、ライセンサーからウール輸入業者または販売業者による証明書提出のこと。	100%

### 注

1. 繊維直径要件（試料採取および試験許容範囲を含む）は、最終製品段階で適用される。平均繊維直径は、繊維加工時における微細繊維の選択的喪失の結果として大きくなる可能性がある。特定の環境でどの程度の変化が起こるかは分かっていないが、最終製品要件を満たすには、原料段階で 21 $\mu\text{m}$  に近い直径の羊毛を選ぶことを推奨する。

## オプションの取扱表示：洗濯機洗いおよびタンブル乾燥

ウールマークまたはウールマークブレンド・ラベルの使用に関して承認を申請するすべての製品は、Woolmark Management Group (WMG) に提出しなければならない。提出した製品の構造パラメータに関するすべての情報を製品の取扱注意に記載しなければならない。そのような製品の試験および合否は、WMG によって取り決められる。

### スクリーニング試験

特性	試験方法	合格基準
緩和寸法変化率 (%：以上) 洗濯および乾燥サイクルの回数と種類	31/254	幅：-4 長さ：-4 1 x 7A + 1 x タンブル乾燥
フェルト寸法変化率 洗濯および乾燥サイクルの回数と種類	31/254	1 x 5A + 1 x タンブル乾燥
合計寸法変化率 (%：以上)	31/254	幅：-5 長さ：-5
3 回のドライクリーニングサイクル後の 外観—パイル スライバーニット製品のみ	287	著しい外観変化がないこと